

都島だより

発行責任者

西村 功

〒241-0002
横浜市旭区上白根2-35-5
TEL 045-953-4726



(社)浪速工業会
関東支部会報

2011年(平成23年)11月 第44号

事務局 馬江 治喜

〒234-0056
横浜市港南区野庭町696-6
TEL045-841-8885
E-mail nanium@c3-net.ne.jp

題字デザイン A28岡田宏三

NEWS44号

関東支部・現在会員数 ◆ 合計531名

◆M・機械112、ME・機械電気24名◆A・建築91名◆E・電気・電子工学170名◆C・土木・都市工学51名◆C I・工業化学・理数58名◆L・普通11名◆工専14名

2012.1.20(金)

関東浪速工業会

の総会・親睦会は

新宿住友ビル47階



東京住友クラブ
にて開催いたします!

平成23年度
総会のご案内

関東浪速工業会、今年度の総会を左記の通り開催いたします。ご多忙中のことと思っておりますが、万障お繰り合わせの上ぜひご参集ください。

●日時 平成24年1月20日(金) 18時~20時30分
●場所 東京住友クラブ

新宿区西新宿2・6・1 新宿住友ビル47階

TEL:03-3344-6285

●親睦会会費 8,000円(女性会員は4,000円)
●平成年度卒業会員は無料!

※同封の返信はがきに出欠をご記入の上必ず投函して下さい。

申込締切 平成24年1月10日

交通のごあんない
JR[新宿駅西口]より 徒歩8分
東京メトロ丸ノ内線[西新宿駅]より 徒歩3分
都営地下鉄大江戸線[都庁前駅] 直上



昨年度総会での全体集合写真

同期・先輩・後輩お誘いあわせの上
是非ご参加ください

昨年度の総会出席者

来賓	岩井理事長 栗根学校長			
機械科	M14松原 滋	M26上田英雄	M34石川芳夫	M34太田静三
	M34西田喜一郎	M36西村 功	M42前田範行	M42山口忠雄
機械電気科	ME H16岡崎 彰	清水一三雄先生		
10名				
建築科	A28酒井 保	A37森 芳信	A37越田 勝	A38岩井浩一
6名	A57信原利行	A57西井久人		
電気科	E29小林孝栄	E35田中 浩	E35芳仲 宏	E36赤尾仁史
9名	E36安部昭俊	E36石垣英明	E36馬江治喜	E36笹治博司
	E36竹村繁幸			
土木科	C20榎本嘉信	C33明見和彦	C33松本信行	
3名				
工業化学科	CI34柴田孝次	CI37五十嵐三喜雄	CI39馬場義甫	
4名	CI40菅家互通			
参加者32名+来賓2名 合計34名でした				



A.M科集合写真



E,ME,C,CI科集合写真



平成年度卒業生
ME H16岡崎氏

JAXA 見学会報告

E 36 馬江 治喜

7月23日、筑波宇宙センター(JAXA)の見学会を開催しました。マイカーでの直行者2名以外は東京駅に集合、バスにて筑波へ向かいました。このJAXAの見学会は事前予約制で、申込み時の手続きが厳格で菅家幹事にはいろいろ御苦勞頂いたようです。見学会は我々のグループと、かなり大勢の子供連れのグループとの2組に分かれての見学となりました。先ずビデオの上映があり、その後スペースドームの見学ではガイドの方の丁寧な説明で見学する事が出来ました。その後ロケットの音響体験があり、スペースシャトルの発射時のすさまじい音響を体験する事ができました。見学終了後、有志で駅前の居酒屋で懇親会を開きました。これも居酒屋の開店時間をもってからの開始で菅家幹事の御尽力のお陰で有難う御座いました。見学会に参加の方も交えての大変有意義な懇親会でした。

参加者：酒井保、森芳信、上田英雄、石川芳夫、西村功、岡崎彰、松本信行、菅家亘通、南谷吉廣、田中浩、赤尾仁史、石垣英明、松本勝、馬江治喜(敬称略) 計14名



見学会集合写真



H23. 7. 23
筑波宇宙センターにて

青 薨 会 関東青薨会主催 横浜洋館めぐりに参加して

A 44 森本 良平

12年前の納涼屋形船に参加して以来久しぶりに今回10月22日(土) 横浜洋館めぐりに参加させて頂きました。前日からの雨で当日も予報ではかなりの雨量、ひよっとしたら大雨との事でした。雨天決行との事前連絡も有りましたが、朝起きたら煩い女房に「この雨でも行くの?」と言われ、私より10歳以上上の人が多く参加するのに・・・又、楽しみにしていた事でもあるので是非行かねばとの決心で家を出て行っただけ。しかしながら朝から降っていた雨も集合前には晴天となり、みなとみらい桜木町駅に集合時には参加12名全員が遅刻者もなく集合しました。(来て良かった!! 若しも参加してなかったら・・・と思うと・・・)

さて、幹事さんが予定している洋館めぐり9か所の前に桜木町駅の目の前に有る帆船日本丸の船内と隣接博物館も含めじっくりと見学した。そのせいか本番の洋館めぐりの時間が少なくなり、行程に入っていた赤レンガ倉庫等をすっ飛ばし、時間の遅れを取り戻すべく足早に次の目的地、港の見える丘公園に向けて出発し辿り着いた(ヒイヒイヒイ・フーと、きつい階段だった)少々汗を掻いた関係で、爽やかな風を受け港を一望した時には、先輩の皆さんは元気はつらつで有った。その後イギリス館にて記念写真を撮って戴きました。(還暦を迎えた私の記念に残る一枚で、後日送られてきたその写真には撮影した人も写っていた不思議な写真でした)

いよいよ本番の洋館巡りのスタートです。私自身横浜に約8年間いた関係で山手の事は知っていたが、改めて歩いて廻る事は始めて、とても新鮮であった。道中先輩方や後輩と短い会話をさせて戴き、やはり同じ学校を

卒業した繋がりや今更ながら強く感じ、更に親近感を味合わせて戴いた。(都工卒に感謝・感謝・感謝) 予定していた洋館巡りを全て終え、知識の一つにさせて戴いた。その後事前予約して戴いていた懇親会場の時間に合すべく、又お腹も減った関係と親睦の集いに早く到達したい思いも有り(私一存の気持ちでしょうか・・・!) 一路石川町の中華街に向け、素晴らしい早足で(下り坂の事も有り)到着し会食の宴と成った。宴席では、年齢の差を越えて和やかでワイワイと賑やかな内に終える事ができました。(関東にいてもこの繋がり、都工卒に再度感謝・大感謝) 最後に今回の幹事の方の事前準備や当日のご苦勞に感謝申し上げます。



撮影した人も写っている不思議な?集合写真



帆を広げた日本丸



今回訪ねた数々の洋館

陶芸会の報告

A 57 信原 利行

毎年恒例の関東青薨会主催の陶芸会が9月10日(土) A46卒の陶芸家の柚木寿雄氏の国立自遊工房にて開催されました。今回は西村会長の奥様が初参加されましたが、参加人数は計5人で例年に比べて少なめでした。しかし、いざ制作が始まると、数時間没頭し日常を忘れる貴重な時間を過ごすことができました。陶芸会終了後は恒例の懇親会となり、柚木氏も加わり、国立駅前の居酒屋にて夜遅くまで大盛り上がりで楽しい会でした。

参加者 M36 西村功夫妻、A37 森芳信、A44 水守恵子、A57 信原利行(敬称略)



真剣な制作風景



陶芸会にて

H23.11.13

一泊懇親会報告



E 36 田中 浩

11月13日(日)〜14日(月)にかけて例年開催している一泊懇親会を神奈川県厚木市の七沢温泉で開催しました。

13日15時に小田急厚木駅南口へ予定参加者の内1名を除いて集まり、今回宿泊する七沢荘よりの送迎バスに乗車。15時半過ぎ到着後、少し早めに到着したので、旅館の近辺を散策しようとぶらぶらと周りを散策した。その後、参加予定者の内未着であったE42卒松本勝氏がマウンテン自転車、颯爽と到着した。本人より聞くところによると、自宅(横浜市)よりその自転車での七沢温泉まで来たとの事。先ずその元気にびっくりした。

早速風呂へ、温泉は露天風呂も含めて大変広いところであったが、少し温めでアルカリ性のため、体が何時までもヌルヌルしている感じであった。宴会場は1階の和室で、参加者11名全員集合して、シシ鍋をつつきながら久しぶりの再会を喜び、お互いの元気を確かめ合い楽しい懇親会となった。あつという間に2時間が過ぎて、その後幹事の部屋へ集まり二次会の再開となった。そこでの話題は何と言っても仙台より毎回参加しているA27卒清井氏より、この3月11日に発生した、東日本大震災の状況の体験談を詳細にお聞きした。その後は政治の話とか、E36馬江氏が日本マスターズ水泳大会の320歳区分混合フリーリレーで世界新記録更新して、表彰台上上がり(社)日本マスターズ水泳協会・副会長の長谷氏(都工・普通科29年卒)より、メダルと記録表の表彰をして頂いた事など話し話題は尽きなかった。温泉は24時間入ることが出来たが、23時頃には二次

会も終了して各自部屋へ戻って就寝した。翌朝は8時より食事を取り、9時半に旅館より大山までバスで送ってくれた。大山では、ケーブルカー乗り場まで360段位の石段を上がり、阿夫利神社をお参りしたり、見晴台へ山道を30分ほど歩き参加者の元気なところを実感した。そして大山名物の豆腐・蕎麦を昼食として頂き、次の再会を約束して散会とした。今回は2日間とも良い天気恵まれて楽しい一泊懇親会であった。



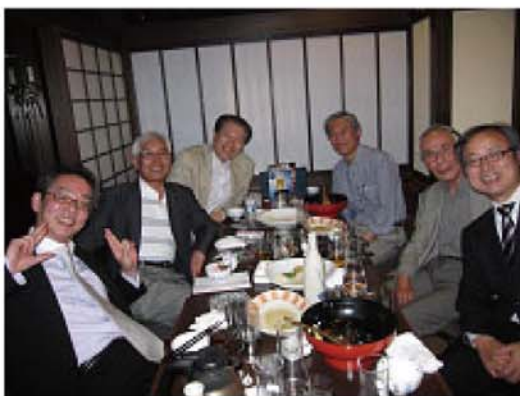
七沢荘玄関前にて

「KDD都工会」の集い復活

E 36 石垣 英明

長らく途絶えていた「KDD都工会」が復活した。「KDD都工会」は都島工高卒でKDDに入社した同窓の集まりです。現在昭和25年卒の大先輩から昭和61年卒まで24名が在籍している。10年以上集まりをもっていなかったが、この5月13日(金)に復活第1回のつどいを開催した。関東在住で連絡がつくものに声をかけたところ6名が参加した。銀座の和食店に会席を設けた。参加者の近況を話し合い、KDDの昔話、都工の昔話で盛り上がり、あつというまの3時間でした。なごり尽きない楽しいひと時をすごした。年に1回は集まりをもとうと誓いあい、再会を約束して散会した。

出席者 E25佐々木寛、E36石垣英明、E38熊西正夫、E41大髯輝雄、E50吉井啓壹、E54石垣智(敬称略)



KDD都工会



秋のゴルフコンペの報告

E 36 竹村 繁幸

東日本大地震により春のコンペは中止となり、一年ぶりの10月11日に越谷GCで開催しました。今回はL29長谷さん、C37若林さん、E39山本さん、C145南谷さんの四名の初参加を得て12名のラウンドとなりました。優勝はHC(新ペリア)に恵まれた幹事が、団体戦は土木・機械チームが混戦を制しました。次回は来年四月下旬を予定しています。

成績表					
順位	お名前	科	GR	HC	NT
優勝	竹村繁幸	E36	93	20.4	72.6
2	明見和彦	C33	89	14.4	74.6
3	若林伸次	C37	93	16.8	76.2
4	菅家亘通	C140	113	36.0	77.0
5	前田範行	M42	106	28.8	77.2
6	長谷景治	L29	105	27.6	77.4
7	太田静三	M34	112	33.6	78.4
8	笹治博司	E36	102	22.8	79.2
9	藤田 忠	C139	105	25.2	79.8
10	南谷吉廣	C145	91	10.8	80.2
11	石川芳夫	M34	118	34.8	83.2
12	山本節夫	E39	122	32.4	89.6



秋のゴルフコンペ・越谷GCにて



卒業50年における母校見学



E 36 馬江 治喜

年月が過ぎるのは早いもので、今年で都工卒業後50年という節目となりました。それで先輩諸氏より、毎年5月中ごろ都工卒業50年の浪速工業会会員に対して、母校より、母校校舎見学のご案内が郵送されてくると言う事をお聞きし、その案内が郵送されてくることを楽しみにしていた。その案内が今年5月中ごろ送られてきて、それによると6月10日(6月第2金曜日)10時から明都館(講堂)にて開催するという事であった。ただ朝10時に母校へ行くのは少々きついと思い、前日ホテルでとまり余裕を持って母校へ行った。(遠方より朝10時集合は難しい人もいると思う。)明都館へ入るのは初めてで、既に多くの同窓生が集まっていた。中には50年ぶりに会う友も居て本当に懐かしい限りであった。10時より吉田学校長殿、岩井理事長のご挨拶から始まり、記念撮影をしたり、最後は校内の施設を見学させて頂き、又明都館で食事を頂き、散会となった。特に電気科の見学では50年前とは全く違った風景?で、パソコンがずらりと並んでいて、現在と50年前の授業との違いを改めて感じた。しかし50年前実験で使用していた、測定器等があり又水銀整流器もあり大変懐かしかった。その後、関西のE科卒の同級生の計画で、琵琶湖の温泉ホテルへ行き同窓会を開催した。なお当日集まった全科の同窓生の数は次の通りである。M科卒24名、E科卒24名、C I科卒21名、C科卒11名、A科卒8名の計88名で、前年度の約3倍の参加者ということであった。聞くところによると、C I科は前日の9日に有馬温泉へ集合して、当日10日に参加者全員が母校へそろって参加

したということ、名案ではないかと思っただ。都工卒業50年という一つの区切りで、このように母校よりご招待していただき、校内見学をさせて頂いたかどうかと思えます。吉田学校長殿を始め、大変ご多忙のところ校内見学等をして頂いた先生方に深くお礼を申し上げます。出来ましたら今後できるだけ長く続けていただきたく思っています。又卒業生も、都島工業学校を卒業したというご縁を大切にさせていただき、このような行事に参加していただきたく思います。



電気科



屋上より撮影した母校風景



母校正門前

鳥交る



M 18 小川 玉泉

竹林を背に峽の花辛夷
朝靄をまとへる丘の初音かな
全容の富士久びさや石尊搔く
春潮の残せし大き毬を蹴る
双幹の神杉出でず鳥交る
門柱に縋る杖の身春疾風
花に会ふため産土へ杖を曳く
御手洗へ散り込む花に拱手かな

私の俳句人生

私と俳句との出会いは勤め先の職場に「馬酔木」の会員が二名おられ、「馬酔木」の僚誌「南風」への入会を勧められたことに始まる。両親を二歳の時に失い、叔母に育てられた孤独感から、文学への関心が強かった。俳句は個の文芸であると同時に衆の文芸でもある。技術畑の仕事のため、俳句作りに割く時間が捻出できず中断したが、俳句への思いは褪せず、定年後、再出発した。当時「末黒野」に都島工業学校の先輩、中野陽路氏がおられ、現在への道が開けた。

私の俳句履歴書

- 昭和2年 大阪府生まれ
- 昭和18年 大阪市立都島工業学校卒
- 昭和21年 「南風」と「馬酔木」に投句を始める
- 昭和33年 「南風」同人
- 昭和35年 「南風」と「馬酔木」退会
- 昭和62年 「末黒野」に入会
- 昭和63年 「末黒野」同人
- 平成9年 「末黒野」同人会長
- 平成10年 藤沢市俳句協会会長
- 平成13年 「末黒野」編集長
- 平成19年 「末黒野」主宰

桂米左(A59木村佳氏) 独演会の報告

E 36 馬江 治喜

10月30日に東京浅草見番にて今年で連続14回目となる東京独演会が開催されました。演目は「皿屋敷」と「菊江仏壇」の2目でした。大変な熱演で、落語の面白さを存分に堪能することができました。参加者はA 28 酒井保、E 35 田中浩夫妻、M 36 西村功夫妻、E 36 赤尾仁史、C I 40 菅家亘通、E 36 馬江治喜の計8名でした。(敬称略)

桂米左独演会



2011年10月30日 浅草見番

訃報

A21年卒 徳田 弘一氏 平成23年8月5日
A38年卒 村中 輝氏 平成23年8月11日
謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

次号のMニュースは平成24年5月発行予定です。

皆様の原稿をお待ちしています！事務局までお送りください。

